

目標達成計画

作成日: 平成 30年 6月 15日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	【1】	法人理念と運動し、グループホーム理念を所属ユニットスタッフにわかりやすく浸透させ、日々のサービス提供に反映できるようにしなければならない。又、グループホーム理念により職場環境改善につとめるようにする必要がある。	法人理念及びグループホーム理念を所属スタッフは唱和できるようにする。法人理念及びグループホーム理念の理解ができる。理念により職場環境改善し、入居者様・所属ユニットスタッフが潤いのある生活・業務が行われる様にする。	法人理念とグループホーム理念が運動できるように所属ユニットスタッフ・関連職員との相談を行い決定する。決定後、理念の理解をするべく研修会を開催。理念が失われることなく継続して理念に基づいてサービス提供ができるようにユニット会議毎に理念について話し合う機会をつくる。	理念の決定及び理解＝3ヶ月 3カ月以後継続
2	【3】	運営推進会議開催前にテーマを設定し、会議参加に該当されている皆様へ周知をしなければならない。実際にグループホームの行われているサービス内容を視察いただき、意見を頂ける場を作らなければならない。	運営推進会議への該当参加者様が参加しやすいように事業所としての広報活動を行う必要がある。当該事業所への関係者様が参加・助力頂けるような機会を作らなければならない。又、事業所内行事への参加をいただき視察していただく必要がある。	運営推進会議の予定表・テーマ等を家族様にお渡しさせていただき、参加をいただけるようにする。地域の皆様への参加いただける機会を自治会や、コミュニティを通じて周知させていただく。	6ヶ月
3	【13】	火災・風水害・地震等の対応として、避難訓練・災害対策を年2回行っているが、所属ユニットスタッフが発生時に対応ができるように複数回以上の訓練を行う必要がある。又、避難訓練時の緊急連絡対策(職員・家族様)を具体的に検討し、訓練としての実施を行う必要がある。	火災・風水害・地震等の対応方法を個々の職員が理解できるように研修及び訓練を行う。災害時対策連絡方法の確立を行い、職員の連絡連携を充実させる。また、所属ユニット家族様に対する災害時連絡対応・訓練を実施。	年間で決定している施設自主訓練1回・消防署立会い訓練1回だけでなく、災害時対策を細分化し、それぞれの災害に合わせた訓練の実施を行う。 風水害時・地震時各1回の実施。緊急時連絡対策訓練1回の実施。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。